

# だいにぎ議会だより



ハロウィンがやってきた！（池田保育所）

|                          |          |
|--------------------------|----------|
| 平成24年度決算を認定 .....        | (2)      |
| 平成24年度一般会計歳入歳出決算図表 ..... | (3)      |
| 審議された議案 .....            | (4)      |
| 特別委員会報告 .....            | (6)      |
| 一般質問（9人が登壇し、町政を問う） ..... | (7)～(15) |
| 議会報告会・研修視察・あしがき .....    | (16)     |

No.  
**175**  
平成25年  
10月30日

# 平成25年 第3回定例会

## 平成24年度 決算を認定

平成25年度第3回定例会が9月11日から25日までの15日間の会期で開かれました。当初は20日までの会期となっていました。また、台風第18号の災害調査等のため5日間延長されました。

平成24年度一般会計及び特別会計等の歳入歳出決算の認定、平成25年度一般会計及び特別会計等補正予算、条例の改正などの議案を審議し原案どおり可決しました。また、今年3月に設置された教育環境調査研究特別委員会の最終報告がありました。

一般質問では9人が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。

## 平成24年度の執行状況

平成24年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入決算額が96億398万9953円で、前年と比較して2億7728万6063円、2.8%の減となり、歳出では決算額が91億5556万8711円で、前年と比較して1279万3309円、0.1%の減となりました。特別会計及び水道事業会計の決算は別表のとおりです。

平成24年度の予算執行については、依然として自主財源の厳しい財政状況の下での執行となりましたが、行財政改革の推進による歳出の削減に努めながら、コミュニティFM開設事業、地域防災計画の策定、庁舎非常電源設備整備事業、南田気集会所整備事業、町民発想地域づくり助成事業、森林機能緊急回復整備事業、廃棄物処理施設整備事業、大子町プレミアム商品券発行事業補助、大子ふるさと博覧会事業、フリークライミング施設整備事業、観光SLシャトルバスの導入、池田町営住宅建設事業、学校施設の耐震補強及び大規模改造事業、高齢者等生き生き外出助成事業、医療福祉費扶助、障害者自立支援事業、特定疾患療養者福祉見舞金の支給、学力向上推進事業の充実のほか、交通通信体系の整備、産業の振興、福祉対策事業、教育の振興、生活環境の整備、消防施設の整備等に係る各種事業の推進に努めました。



コミュニティFM放送局「FMだいご」



観光SLシャトルバス

## 平成24年度 特別・水道事業会計決算

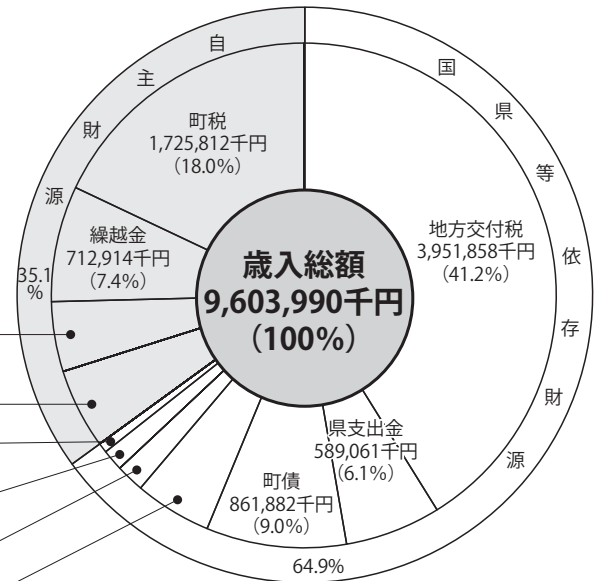
| 会 計 別    |          | 歳入決算額          | 歳出決算額           |
|----------|----------|----------------|-----------------|
| 特別<br>会計 | 国民健康保険事業 | 28億 654万6,614円 | 27億1,009万8,618円 |
|          | 後期高齢者医療  | 2億3,626万 189円  | 2億2,613万 473円   |
|          | 介護保険     | 21億 472万 445円  | 20億4,604万9,786円 |
|          | 介護サービス事業 | 1,427万4,141円   | 1,248万4,024円    |
|          | 浄化槽整備事業  | 8,850万7,370円   | 8,690万1,302円    |
|          | 下水道事業    | 31万7,263円      | 31万7,263円       |
| 水道事業会計   | 収益的収支    | 4億7,928万6,420円 | 3億8,881万5,249円  |
|          | 資本的収支    | 4億 544万9,000円  | 6億 547万3,525円   |

※資本的収入が資本的支出に対し不足する額2億2万4,525円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額755万4,297円、過年度分損益勘定留保資金9,247万228円、減債積立金取り崩し1億円で補てんした。

# 平成24年度 一般会計歳入歳出決算図表

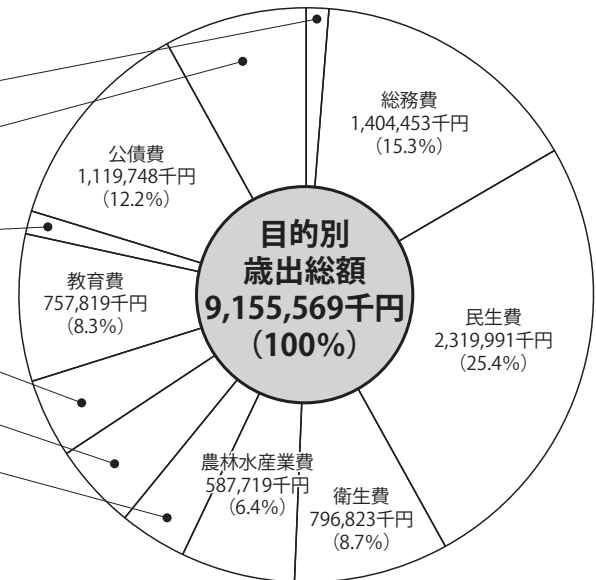
## 歳入

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 使用料及び手数料    | 430,087千円(4.5%) |
| 分担金及び負担金    | 68,903千円(0.7%)  |
| 諸収入         | 265,391千円(2.8%) |
| 財産収入        | 84,681千円(0.9%)  |
| 寄附金         | 4,864千円(0.1%)   |
| 繰入金         | 69,214千円(0.7%)  |
| 自動車取得税交付金   | 34,223千円(0.4%)  |
| 利子割交付金      | 3,262千円(0.0%)   |
| 配当割交付金      | 2,645千円(0.0%)   |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 683千円(0.0%)     |
| 地方特例交付金     | 2,811千円(0.0%)   |
| ゴルフ場利用税交付金  | 14,106千円(0.1%)  |
| 交通安全対策特別交付金 | 2,586千円(0.0%)   |
| 地方譲与税       | 131,174千円(1.4%) |
| 地方消費税交付金    | 173,936千円(1.8%) |
| 国庫支出金       | 473,897千円(4.9%) |



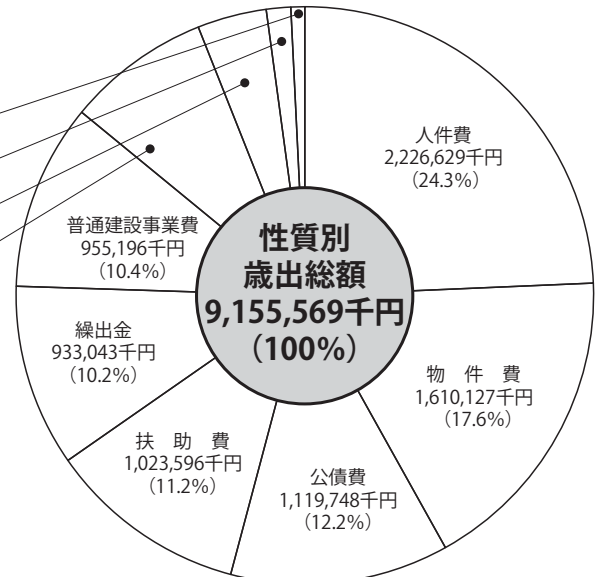
## 目的別歳出

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 議会費   | 116,111千円(1.3%) |
| 諸支出金  | 736,436千円(8.0%) |
| 災害復旧費 | 118,860千円(1.3%) |
| 消防費   | 407,341千円(4.5%) |
| 土木費   | 441,744千円(4.8%) |
| 商工費   | 348,524千円(3.8%) |



## 性質別歳出

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 維持補修費       | 57,649千円(0.6%)  |
| 投資及び出資金、貸付金 | 13,395千円(0.2%)  |
| 災害復旧費       | 124,964千円(1.4%) |
| 補助費等        | 354,788千円(3.9%) |
| 積立金         | 736,434千円(8.0%) |



### 第3回定例会 提出議案等と審議結果

| 議案番号             | 議 案 名  | 結 果        |
|------------------|--|------------|
| 議案第66号           | 大子町長等の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて    | 原案承認       |
| 議案第67号           | 平成25年度大子町一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認を求めることについて         | 原案承認       |
| 議案第68号           | 平成25年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認を求めることについて | 原案承認       |
| 議案第69号           | 大子町税条例の一部を改正する条例                                 | 原案可決       |
| 議案第70号           | 大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例                           | 原案可決       |
| 議案第71号           | 大子町税外諸収入の滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例             | 原案可決       |
| 議案第72号           | 大子町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例                       | 原案可決       |
| 議案第73号           | 大子町介護保険条例の一部を改正する条例                              | 原案可決       |
| 議案第74号           | 大子町保健師、助産師、看護師及び准看護師修学資金貸与条例の一部を改正する条例           | 原案可決       |
| 議案第75号           | 奥久慈区域農用地総合整備事業に要する負担金の賦課徴収条例の一部を改正する条例           | 原案可決       |
| 議案第76号           | 町道路線の認定について                                      | 原案可決       |
| 議案第77号           | 平成25年度大子町一般会計補正予算（第3号）                           | 原案可決       |
| 議案第78号           | 平成25年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）                   | 原案可決       |
| 議案第79号           | 平成25年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）                    | 原案可決       |
| 議案第80号           | 平成25年度大子町介護保険特別会計補正予算（第1号）                       | 原案可決       |
| 議案第81号           | 平成25年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）                   | 原案可決       |
| 議案第82号           | 平成25年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）                    | 原案可決       |
| 議案第83号           | 平成25年度大子町水道事業会計補正予算（第1号）                         | 原案可決       |
| 議案第84号           | 平成24年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について                       | 原案認定       |
| 議案第85号           | 平成24年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について               | 原案認定       |
| 議案第86号           | 平成24年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について                | 原案認定       |
| 議案第87号           | 平成24年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について                   | 原案認定       |
| 議案第88号           | 平成24年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について               | 原案認定       |
| 議案第89号           | 平成24年度大子町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について                | 原案認定       |
| 議案第90号           | 平成24年度大子町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について                  | 原案認定       |
| 議案第91号           | 平成24年度大子町水道事業会計剰余金の処分及び利益の処分並びに決算の認定について         | 原案可決及び原案認定 |
| 議案第92号           | 平成25年度大子町一般会計補正予算（第4号）                           | 原案可決       |
| 常任委員会<br>審査報告第3号 | 教育予算の拡充を求める請願（請願第1号）                             | 原案可決       |
| 議員提出<br>議案第4号    | 教育予算の拡充を求める意見書                                   | 原案可決       |

# 平成25年度一般会計補正予算

## 6044万4千円の増額

平成25年度大子町一般会計補正予算(第3号)の主なものは別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ90億80

02万3千円となります。また、国民健康保険事業特別会計263万4千円の増、後期高齢者医療特別会計194万8千円の減、介

護保険特別会計127万4千円の増、介護サービス事業特別会計212万3千円の増、浄化槽整備事業特別会計330万9千円の減の補正がありました。

水道事業会計については、収益的支出では支出予算内での組替えのため予定額に変更はなく、資本的収入では225万円の減、資本的支出では203万円の増の補正がありました。

### 臨時会での補正予算

平成25年10月16日開催の第4回臨時会において一般会計補正予算が提出され、原案どおり可決されました。補正額は1億1534万5千円の増額で、補正後の予算額は、歳入歳出それぞれ

91億9536万8千円となります。

歳出の内容は、ほとんどが台風第18号被害による災害復旧に係る予算です。また、この補正に要する財源として国庫支出金、繰越金、町債等の歳入が見込まれています。

### 議会を傍聴しましょう

議会傍聴は町政を知る良い機会です。お気軽にお出かけください。

#### 12月定例会開催予定

▽4日(水) 開 会  
▽5日(木) ～8日(日) 自宅審議

▽9日(月) 一般質問  
▽10日(火) 一般質問  
▽11日(水) 一般質問  
▽12日(木) 逐条審議  
▽13日(金) 逐条審議

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

(072-1115)

### あなたから出された請願は

| 請願名           | 請願者                                     | 付託委員会   | 結果  |
|---------------|---|---------|-----|
| 教育予算の拡充を求める請願 | 水戸市笠原町978-46<br>茨城県教職員組合<br>高野富二男ほか110名 | 文教厚生委員会 | 採 択 |

※採択された請願は、地方自治法第99条の規定により国会又は関係省庁に意見書を提出しました。

# 教育環境調査研究特別委員会報告

第3回定例会において、教育環境調査研究特別委員会（大森勝夫委員長）から報告がありました。

特別委員会では、第1回定例会（3月）に設置されて以来、12回にわたり委員会を開催し学校と地域の関係、学校適正配置等のあり方、子どもたちの生活環境の変化などについて調査研究を重ね、地域の現状に即した町独自による学校形態の指針を構築する必要があるとの結論に至りました。中でも早急に取り組むべき重要課題は学校存続に関する少子化対策とし、就労、結婚、福祉及び住宅問題などの対策が急務として4項目を提言しました。

なお、議会閉会后には、特別委員会からの提言として大子町長、大子町教育委員会委員長、大子町教育長に対して提言書を提出しました。

## 特別委員会からの提言

- 1 従来の大子町立小中学校適正配置等検討委員会は、学校統廃合の問題が具体化した際に招集し運営してきた。今後は、大子町の学校配置の中長期的な検討が可能となる委員会の運営が必要である。

そのためには、定期的な開催に努め、普段から学校に対する町民の意識を調査し、町の方針を提案し協議できるなど、調査機能を強化した委員会の運営を求める。

また、各地域の住民の声を反映させるために、広く一般町民への委員委嘱が必要である。

- 2 少人数の学校における保護者の意識は、学業成績が優位な傾向があるものの、集団活動の維持に対する不安が高いという傾向が見受けられる。

少人数の中学校の部活動活性化のため、団体競技種目は、複数校合同による運営の可能性を検討し、連合チームは茨城県大会に出場できない現状の改善を県の関係機関に働きかけるなど、関連課題の解決を含めた努力を求める。

- 3 子どもたちは、生活環境の変化で命の大切さを実感しにくい状況にある。今日のいじめ問題等が発生しやすくなった背景は、日常生活で命の尊厳を学べる機会が少なくなったことも一因と考える。それらを補うために、子どもたちが「命の大切さ」を学べる指導内容の更なる充実を求める。

また、いじめ・不登校問題は、早期発見と早期対応が重要である。経験を生かした適切な対応が取れるよう、教育機関の連携を密にし、情報の共有と集積に努めるとともに、発生抑止の対処策を策定するよう教育委員会の更なる努力を求める。

- 4 少子化問題は、学校存続に直接関連する喫緊の課題である。若年層比率の低下する本町において、その事態を深刻に受け止め、若者が定住できる施策を継続的に実施していく必要がある。

就労の確保については、農林業の保護支援や新規産業の招致に努めるとともに、個人事業者の世代継承による継続的な居住者確保という観点にも目を向け、働く世代の人口流出を防ぐ必要があり、就労、結婚、福祉及び住宅問題などの対策を求める。

# 一般質問

## 療養休暇・退職者給与の見直しを

### 答 療養休暇期間は県から通知ある



岡田敏克 議員

**問** 仕事がないのに夜遅くまで残っていたり、用もないのに帰宅せざるうろしている職員がいる。このような職員に対し上司は注意しているのか。

**答 企画観光課長**

今後よく内容等を調査、精査して対応していきたい。

**問** 年間の時間外手当額、約5千万円の決算が出ている。隣町の那珂川町は大字町と職員、人口がほぼ同じで、職員の時間外手当額は年間2千万円。大字町はその2・5倍となっている。

残業が野放しではダメである。町職員の高卒40歳で1時間の時間外手当額は2500円、高卒50歳では3500円で一般民間会社では1000円ももらえない。課長は手当をもらっているのだから職員の時間外内容をきちんとつかんでほしい。また、財政改革を常に職員に植え付けてもらいたい。

**答 町長**

職員の40歳代、50歳代の残業1時間当たりの金額をはつきりと認識していなかった。全部署には部下がどういった内容の残業をしているのか、その残業を認めるのかどうか、そういうものをしっかりと精査指導をしている所で、指導を徹底して極力残業代の削減に努めていきたい。

**問** 職員の療養休暇及び退職者の給与について条例・規則の改定を提案したい。現在の療養休暇は、やむを得ない場合休暇とするもので、規則で1年以内とされている。給与は100%支給され、すべて税金である。休職の場合医師の診断書が必要で、2年未満は給与の80%が支給、3〜4年は共济組合から80〜60%（税金）が支給される。民間の場合、3か月休職したらクビで給与もない。仕事内容が嫌で1年間も精神的療養で休職していた職員が、好きな部署へ異動した途端元気に仕事をを行い残業までやっている。好き嫌いで仕事するのは公務員不適合者であり部署を選べないのが公務員である。隣県では精神的療養は外から見えないため悪

用されることがあるため、これまでの条例・規則を改定し、成人病や精神科疾病は6か月以内、他の負傷・疾病は3か月以内は給与を全額支給、その後1年以内は80%支給。2年以上の者は共济組合から退職を指導している。診断書については町が指定した病院で、しかもかかりつけではない2か所の病院の診断書が必要となっている。県では44市町村のうち22市町村が既に改定し、大字町は

改定していない。県から町に改定指導があったのか。

**答 総務課長**

療養休暇の期間については県から通知をもらっている。

用されることがあるため、これまでの条例・規則を改定し、成人病や精神科疾病は6か月以内、他の負傷・疾病は3か月以内は給与を全額支給、その後1年以内は80%支給。2年以上の者は共济組合から退職を指導している。診断書については町が指定した病院で、しかもかかりつけではない2か所の病院の診断書が必要となっている。県では44市町村のうち22市町村が既に改定し、大字町は



自治六法

## 「大字のうた」CD

### その後の進捗状況は

**問** 「大字のうた」CD制作で著作権問題は5人から町と受託者が訴えられている。職員を条例違反で懲戒処分する考えは。

### その他の質問

**答 町長**

条例・法令を精査し検討

○スクールバス（山田・上岡地区スクールタクシー）の運行について

# 一般質問

## SL復元し人訪れる町を目指せ

### 答開通80周年の運行要請中



藤田 健 議員

を図り高い効果を得ている。当町においても駅前には蒸気機関車が展示されている。この機関車を復元し奥久慈の景観とマッチングを図り自信の持てる町づくりが必要と思うが。

答 町長

大子の駅前に展示されているSLの改修には数億円の使用が必要であり、更に高齢化等の理由から機関士

がない状況である。できることであれば土曜・日曜の期間だけでも運行をしていただきたいと考えている。

問 全国に多くの鉄道がある中で大子駅のようにSLの転車台があるのは数少ない。水郡線は開通80周年を迎えるが、転車台は動く文化遺産的な価値があるのではないか。後世に伝える交通文化遺産として保存でき

るよう働きかけをしてはどうか。

答 町長

水郡線活性のため、SLが動いても動かなくても転車台は残すべきだとJRに

### 奥久慈茶生産農家に活力を

問 現在、奥久慈茶業界は販売不振により大変な状況にある。現状を町はどのように考えているか。

答 副町長

原子力事故の後、一番影響があるのはお茶である。茶業組合や生産者の方々の努力だけでは販売の面で回復は難しいというのが現在までの姿であると思う。

問 今年、お茶の生産農家は生葉が全く売れない状態で、収入が全くないと言っても過言ではない。昨年は原発事故の補償があったが、町の農家全体での補償額はどのくらいか。

答 農林課長

東電からの補償については、297件、金額にして

働きかけをしたい。また、平成26年は水郡線開通80周年に当たるので、SLの運行が実現できるように要望活動をしていきたい。

約6億円です。

問 茶農家平均で200万円が収穫できなかったことになる。今後の対応をどのように考えているか。

答 副町長

奥久慈茶農家が継続できるように意見交換を行い、連携を深め国県と協議しながら町として支援をしたい。

### その他の質問

○道の駅奥久慈だいの2年後の対応は

○地域防災における各コミュニティセンターの役割は

○行政懇談会における地域の意見を大切に

問 経済効果を高め流動人口を増やす観光立町としての姿は、全国に名が知られるに多くの人たちが訪れる町でなければならぬ。特色ある町づくりが最も重要なことである。当町には将来に向かって夢と希望を抱いて頑張っている若い世代が人口の3分の2いる。観光を目玉に歴代続いている「観光の町だいの」だが、時代の流れを考えると今後更なる思い切った方策が必要ではないか。全国の有名地は、大体が鉄道との連携



常陸大子駅前に展示されているSL



# 一般質問

## 5年後、当町の農業農地は

### 答 農地の集約化で支援は可能



藤田友晴 議員

今後の農業発展を目指す一つの手段が、農産物の生産・加工・流通を一本化して付加価値をつける6次産業化だと考えている。既にリンゴ、茶、常陸大黒など数々の商品が販売され、好評を得ている。国や県における6次産業化への支援体制等も確立されているので、新たな展開があれば積極的な支援を行いたい。

人・農地プランについてもアンケート調査や地域における話し合いを行い、プラン策定検討委員会でも策定した。

また、高齢者の



増え続ける耕作放棄地

## 二酸化炭素排出量取引制度の活用は

問 温室効果ガスの排出削減量、吸収量を認証する国内クレジット制度とJ-V E R制度が発展的に統合され「Jクレジット」となり、

答 町長

今後更に活性化、活発化するが、当町もつくば市とのカーボンオフセット協定が既に行われ森林保全整備に役立っている。今後、CO<sub>2</sub>排出量取引等の新たな展開はあるのか。

つくば市との協定は22年度から行っており、今年度までの実績で3・5haの間伐と6haの植栽を実施し、この協定は今後31年度まで継続実施の予定である。新たな排出量取引については考えていないが、企業等からの話があれば考えていきたい。また、Jクレジットを精査し対応していきたい。

## インフラ整備で産業観光生活向上を

問 長年、県南・県北格差問題が言われ続けているが、私たちの地域にとって生活道路整備、高規格道路等の整備は念願であり、そのことによって企業活性化や雇用促進、若者の定住、生活向上につながる。私たちの将来、子どもたちの将来、地域の将来のためにも取り組みの強化を願いたい。

答 町長

戦略市場創造プランでは

安全、便利で経済的な次世代インフラ構築が掲げられている。町は高速道路網から1時間ほどかかり、そのアクセス道路も高規格化されていない。高規格道路期成同盟会においても県北市町村と必要性の共通認識を持っており、今後、国の施策を積極的に取り入れ、県北市町村や関係機関と協議を行い、インフラ整備を求めていきたい。

問 減り続ける農業担い手、増え続ける耕作放棄地、農地を荒らすイノシシ被害等、また、TPPで地域の農業がどう変わってしまうのか非常に心配される。6次産業化や人・農地プランを町はどう取り組んでいくのか。また、当町は大多数が小規模農家で一生懸命地域の農地を守ってきた。高齢化や担い手不足で5年後、10年後の心配もある。小規模農家への支援が必要では。

答 町長

# 一般質問

## 校庭。パネル化より荒地活用では

### 答農地法など困難課題が多い



大森勝夫 議員

**問** 町有地へ企業立地の計画があるが、その概要は。

**答 町長**

一つ目の企業立地は、旧黒沢中学校での太陽光発電事業と事業所設置である。校庭に太陽光発電パネルを設置、体育館は部材の倉庫、校舎は管理棟として活用する。また、同社は山田ふるさと農園北側町有地でも太陽光発電を予定している。二つ目の企業立地は、旧下野宮小学校で太陽光発電事業とシイタケの栽培・加工・販売を行なう会社である。

る。校庭はコンクリート舗装の駐車場にして地域住民にも開放する。校舎の3分の1を太陽光発電に、3分の1をシイタケ栽培に、3分の1を地域コミュニティに開放する。

**問** 旧黒沢中学校

は文化的価値が高い校舎である。登録文化財への検討も進めていると聞いた。企業進出により、景観の悪化や文化的価値の低下が懸念されないか。

**答 町長**

太陽光パネルの高さを140センチ以下と低くするなど、校舎の景観を損なわない最大限の配慮をする。



旧黒沢中学校

講堂は歴史的価値が高いので、文化的な指定も考えている。それらを含めて企業側と協議を進めている。

**問** 校庭をパネルで埋め尽くすより、遊休農地への太陽光パネルの設置を進める

べきではないのか。現在の法規制では、農地へ太陽光パネルを設置する場合、従来の8割の収穫が確保できれば認可される。ソーラーシェアリングという手法が確立されているので、農業委員会や農家へ検討を依頼するなど、町が指導的立場

### 民間と協力した住環境整備の検討を

**問** 若者定住を推進するためには働く場の確保、住環境整備、結婚への支援等が重要である。特に賃貸住宅の整備は「定住」に結びつく事業であり、町外への通勤が多い当町では、町外転出をくい止めるために効果的であった。今後の中長期的な住環境整備の考えは。

**答 町長**

現在は老朽化した池田住宅立替事業を行っている。町事業として、環境センター建設や学校耐震化など多額の予算を必要とする状況であり、新規町営住宅を建設することは困難と考え

を取るべきではないか。

**答 町長**

農地法による規制など困難も多いが、農業委員会との連携を図りながら、耕作放棄地の情報収集と太陽光パネル設置の可能性を調査・検討していきたい。

る。

**問** 民間と協力した整備促進を検討できないか。民間が賃貸アパートを建設し、町が一定期間借り上げ家賃の減額分を町が補填する。

**答 町長**

公営住宅法に借上公営住宅制度があるが、用地取得が困難な都市部向けの制度である。民間と協力した住環境整備については、今後の町営住宅への入居申込者数の動向をみて考えたい。

# 一般質問

## 平成24年度決算は

### 答 考えていた施策ができた

いる。

**問** 行政改革で財政支出を節約できたものはあるか。

**答 町長**

23年度の職員数278人が24年度266人と12人減となり決算額で職員給与額は1億4031万円の減となった。

**問** 3名の特別職に対して1055万円の退職手当を計上しているが、退職金はいくら支払われるのか。

**答 総務課長**

町長1366万円、副町長602万円、教育長432万円である（4年間）。

がなかったのはなぜか。宗  
教法人の土地があるにもか  
かわらず申請業者とどの  
ような交渉をしてきたの  
か。

**答 町長**

神社有地の存在を説明  
しなかったとすれば、ミ  
スであります。

**問** この問題があること  
を知っていたことは事実  
である。業者にどのよう  
に説明しているのか。

**答 財政課長**

カンメン（業者）は神  
社有地の存在があること  
はわかっていた。神社と

貸借で話を進めると業者か  
ら聞いている。



鈴木陸郎 議員

**問** 政策懇話会に32名で46万7千円が使われているが、どのように町政に反映されているか。地区別懇談会を今後どのように進めるのか。

**答 町長**

政策懇話会は今後も進める。地区別懇談会は中身を検討する。

**問** 決算書で多額の不用額があるが、内容の説明を。

**答 町長**

工事請負費、委託料、負担金補助及び交付金などで3億7728万円となっている。

### 諸般の報告事項は

**問** 町民発想地域づくり助成事業でモトデイープロジェクトの申請が不採用となった理由は。

**答 町長**

申請団体に活動実績がなく、事業内容に工夫と改良がほしい。

**問** 旧黒沢中学校へ太陽光発電事業の申請がなされているが、閉校後短期間で利活用を決定して良いのか。

高齢者の少数意見ではあるが住民の声がある。

**答 町長**

閉校後の利活用を地元住民と話し合いをしたが、特に要望はなかった。町が進めるべきとのことであり、事業者の説明会を開いたところである。

**問** 旧下野宮小学校の跡地には26aの神社有地があるにもかかわらず議会に説明

### 仮称「屋台会館」の建設は

**問** 国道461号沿いの開発と仮称「屋台会館」の建設について業界紙に報道され、来年度以降に基本計画の策定を進めていく方針との記事が載っているが、来年度予算化する考えか。

する。

**問** 選挙時の公約にシャッター店舗、空き店舗を活用した事業（健康の駅、山車の展示場）とあるが、行き過ぎた行政サービスではないか。

**答 町長**

中心市街地活性化基本構想策定業務について予算化

**答 町長**

中心市街地活性化の考えで進めている。



旧下野宮小学校

# 一般質問

## にぎわいと活力ある町づくりを

### 答 中心市街地活性化基本構想策定目指す



藤田 稔 議員

より得点制で選定した。

**問** 拠点施設等の整備の中に7町内所有屋台の展示スペース等の提案はあるか。

**答 企画室長**

**問** 大子町中心市街地活性化基本構想策定業務の進捗状況はどうか。

**答 町長**

5月に募集し、6月のプロポーザル等検討委員会で水戸市の㈱ミカミに決定した。7月契約締結、10月に素案をまとめて、来年2月を目途に策定を目指す。

**問** プロポーザル等検討委員の選考及び選定理由は。

**答 企画室長**

町長指名で8名の職員を選考し、業務提案書の評価基準、評価表という内容に

**答 町長** 学識経験者で調査団を結成し例大祭に合わせて実施調査を行った。調査報告書を作成し11月下旬に文化福祉会館で発表する。今後順次、屋台や山車の実態調査を行って行く。

**問** 町営池田住宅の建て替え計画の内容は。

**答 町長**

平成24年度池田住宅建替基本計画を基に今年度宅地造成及び進入路工事。26年度から28年度で住宅建設18棟、36戸を完成させる計画である。

**問** 建て替え説明会ではどのような意見があったのか。

**答 建設課長**

主に家賃についてであり、現在の家賃から5年間かけて3万円台の正式な家賃にする制度でやりたい。

**問** どのような住宅建設か。

**答 建設課長**

平屋、2階建てなど何タイプか考案中である。

**問** 大子広域公園において各種競技が開催できる施設の整備を県に要望しては。

**答 町長**

都市公園として県が整備した。将来、施設整備が可能か検討したい。

**答 町長**

短距離走用コース芝生化の整備は大子工務所に進達をした。

**答 建設課長**

テニスコートは、一面直すのに1千万円かかり一気の整備は困難である。



改修が望まれる大子広域公園テニスコート

## 少子化に対応した町づくりを

**問** 放課後子ども教室、児童クラブの一体化はどうか。

**答 町長**

平成26年度中に大子町子ども・子育て支援計画を策定したい。保護者のニーズを踏まえ、二つの事業の連携を図り、事業の充実に向けて検討していきたい。

**問** 出会いサポート事業において、各関係機関と連携し、ニーズにあった企画をするべきではないか。

**答 町長**

11月2日に「袋田の滝ライトアップナイトコンパ」の開催を計画している。

# 一般質問

## 図書標準と給食の地場農産物割合は

### 答 図書標準は全学校で達成を目指す



佐藤正弘 議員

学校では3校が未達成である。今後、蔵書を計画的に購入しすべての小・中学校で一〇〇%を目指す。

問 学校給食における地場農産物の使用割合を第5次総合計画では、計画策定時の36%から平成26年度までに45%に引き上げるとしているが現状は。

生産グループが生産したものを優先に納入している。使用品目はネギ、芋がら、ジャガイモ、大根、タマネギ、白菜などで品目に占める割合は39%です。

問 読書活動を通じて自ら考える力や創造力、行動力を児童・生徒自身が身につけることをねらいに「読書のまち」を宣言しているが、その成果と各学校の図書標準の達成率は。

答 教育長

県の「みんなにすすめる一冊の本」事業での県教育長賞、県知事賞等の受賞、少年の主張茨城県大会へ2名が選出されるなど読書活動の成果が表れている。小学校は、すべての学校で図書標準を上回っている。中

答 教育長

地産地消と安定供給を考慮して、一括してJ・Aみどり奥久慈特産物直売所から納入している。そこを窓口で町内野菜



読書のまちを担うプチソフィアの蔵書

## 高速通信網整備と

### 清流高校の町内就職者割合は

問 企業誘致の条件として、高速通信網の整備は必要不可欠な要素とし、平成26年度までに全地区の整備を目標としているが現状は。

答 町長

国道118号沿線以外の地域では見通しが立っていない。町の世帯数7700戸のうち4800世帯が利用可能で、1500世帯が

利用している。  
問 大子清流高校の卒業生の町内就職者の割合を50%にする目標を掲げているが達成できるのか。

答 町長

町内就職率は、平成24年度で29・1%である。50%まで引き上げるのはむずかしい。企業誘致等地元に残れる環境を整えていきたい。

### 耕作放棄地と鳥獣被害の対策は

問 耕作放棄地が増えることによりイノシシ等の被害が拡大している。総合計画では耕作放棄地を916haから850haに減少させる目標が掲げられているが。

答 町長

農業従事者の高齢化少子化による後継者不足、あるいは福島原発事故以来、増えてしまったイノシシ等による農作物の被害で、耕作放棄地が増えていることか

ら目標達成は困難である。  
問 イノシシ等による農作物への被害が拡大している。抜本的な対策が必要であるが、被害の現状と対策は。

答 町長

被害の状況は把握していない。対策として電気柵等の設置への補助、有害鳥獣捕獲隊への業務委託、狩猟期間内における有害鳥獣捕獲への補助金等の整備を行っている。

# 一般質問

## 地元資源利活用の考えは

### 答 需要の動向を見極めて検討する

の効果及び影響は。

答 町長

木材流通センター及びびラ  
ミナ製材工場へ出荷され、  
町内の林業にそれなりの効  
果と影響があった。

問 大子町における太陽光

発電の設置予定の状況は。

答 町長

旧スバ袋田ゴルフ場、下  
野宮小跡地、黒沢中跡地、  
大沢小跡地、山田地区など  
に計3社の計画がある。



金澤眞人 議員

### 中山間地の農業の今後の行方は

問 農地集積の状況は。

答 町長

農業を維持するために必  
要な手段と考えている。さ  
まざまな支援策もあり今後  
更に集積が増えたと考える。

問 町や農業委員会が貸し  
手と借り手の仲介をするよ  
うな考えは。

答 町長

農業委員会とも協議し  
て、町としては進んで取り  
組んでいきたい。

問 遊休農地や耕作放棄地

4ヘクタールになった。町  
外から運ぶより安くなり、  
普及の余地があると考ええる。

問 農地の中で太陽光  
発電に転用可能な所は  
あるか。

答 町長

町としてはまだ調査  
はしていない。慎重に  
進めて行きたい。

問 奥久慈茶のブラン  
ド維持を考えているか。

答 町長

大子町農産品ブラン  
ド推進協議会を今月設

### 緊急告知

### ラジオFMだいの運営内容は

問 受信可能エリアは。

答 町長

業者と契約上の受信世帯  
割合は96・5%、7300  
世帯だが明確ではない。

問 維持経費の予想と維持  
に対する国の補助は。

答 町長

年間約3000万円を見  
込んでいる。維持に対する  
補助金はない。

立した。今後、栽培方法や  
品質等トータル的に支援し  
ていく。



休遊地の解消に枝物栽培

問 スポンサー等の広告取  
入の予想は。

答 町長

広告やスポンサーの募集  
はしているが、まだ契約の  
段階には行っていない。

### その他の質問

○自然エネルギーについて

# 一般質問

## 災害弱者と避難所環境の改善は

### 答着実に改善するよう努力する



野内健一 議員

までに401名の申請を受け付けた。

**問** 大子町として災害時要援護者は、何人くらい想定しているか。

**答 福祉課長**

昨年の12月に対象者と思われる1106名に対しダイレクトメールを送り、現時点では500名近くの方が登録申請を終えた。

**問** 登録者は約半数弱ということであるが、名簿作成完了まであとどれくらいの期間を必要とするか。

**答 福祉課長**

ダイレクトメールを受け取った全員が要援護者名簿に登録ということではないと思うが、福祉課としては年内を目途に整理したい。

**問** この名簿を作成後、町としての範囲まで配布するのか。

**答 福祉課長**

大子町消防本部、民生児童委員、大子町社会福祉協議会、大子町警察署、各行政区長、自主防災組織を予定している。各地区の消防団については、今後検討する。

**問** 今回の改正の中でもう一つ重要な点は、避難所における生活環境の整備があげられている。町長としての考えは。

**答 町長**

今回発生した台風第18号での避難者の中に高齢者がたくさんいた。保健師が、これら高齢者に希望をとり、保健センターへ移動していただき、健康チェックを実施して避難者の方たちに安心を与えることができた。このようなことも、避難所における生活環境の整備向上に当てはまらると思う。

## 地区行政懇談会への思いと

### 今後の改善は

**問** 現在実施している町行政のさまざまな施策について、広く町民の声を聴き、

今後の町政に反映させたいとの趣旨で今年度より始めた地区行政懇談会を町長はどのような思いを持って実施しているか。

**答 町長**

行政懇談会で

**答 町長** 来年度からは高齢者を対象、あるいは子育て世代の若い方たちを対象にするなど対象者を分けて実施したい。また、実施する時間帯も昼間では集まりにくいと思うので、夜間の実施も考えたい。



地区行政懇談会（浅川集会所）

## 議会報告会



▲黒沢地区



▲生瀬地区

「議会報告会」を8月22日(木)に黒沢女性・若者等活動促進センター(黒沢

地区)と生瀬コミュニティセンター(生瀬地区)の2会場で開催しました。

この報告会は、町民に開かれた議会づくりを目指す議会改革の一環として昨年に引き続き開かれたもので、町民の意見や要望を議会活動や町政に反映させるためのものです。黒沢地区21名、生瀬地区11名の方が参加され、議会報告のあと質疑応答が行われました。

今後も各地区での開催を予定していますので、多くの方の御参加をお待ちしています。

## 常任委員会 合同研修視察

10月10日・11日に福島県会津坂下町議会(議会活性化の取組み)及び山形県川西町議会(議会広報の編集・6次産業化推進計画)を訪ねて研修を実施しました。

会津坂下町議会は、議会及び議員が自らの責務を自覚し、町民の福祉の向上と

活力ある地域づくりを進める議会を、約1年3か月かけて条文を検討し議会基本条例を制定しました。

また、町政への住民参加のため、議会中継の実施や町民・議会懇談会を実施しています。町民・議会懇談会は、大子町議会で行っている議会報告会と同様のものので各地区に向いて地区民との懇談会を開催しています。

川西町議会は、町村議会広報コンクールで優秀賞の常連として知られているため、その編集のノウハウを研修しました。広報委員会は常任委員会として位置付けられ、広報モニターや広報アドバイザーを活用しながら編集・発行を積極的に



▲会津坂下町議会

行っています。

また、農業者が農産物の生産だけではなく、農産物を使った加工食品などを生産から販売までを手掛ける総合産業化にすることで、所得の向上につなげていくという6次産業化の取組みについて、町担当課からの説明を受けました。

## 今回の表紙

ハロウィンは、秋の収穫を祝い悪霊を追い出す古代ケルト人が起源とされるお祭りです。

日本でも仮装などをして楽しむイベントがあるようです。(池田保育所提供)



▲川西町議会

## あとがき

台風第18号により9月15日の降水量167ミ、16日37ミ、最大1時間降水量57ミ、被害状況は床上、床下浸水50棟、一部損壊9棟、被害農業者数48戸など甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

さて、この度県町村議長会で香川県直島町の行政視察に参加してきました。「瀬戸内国際芸術祭2013」が年間150日開催されており、「小さな島を大きく美しく」世界に羽ばたく「環境とアートの島」構想を掲げ、多くの外国観光客が来ている。行く街から来てもらう街づくりが大切だと思った。(吉成好信)